

市制50周年記念シンポジウム

第三部 パネルディスカッション

市域の歴史と文化の魅力

—小牧・長久手の戦いなどから—

中部大学人文学部
歴史地理学科

水野 智之



パネラー 自己紹介

- 水野智之（みずのともゆき）

日本中世史専攻

南北朝・室町時代の政治史

愛知県史、安城市史、豊田市史、
春日井市史など、多くの自治体史
の刊行に従事

尾張旭市とのつながり

- 小牧・長久手の戦いの研究

2001年～2004年度 文科省科学研究費

「近世成立期の大規模戦争」の共同研究

→ 『小牧・長久手の戦いの構造 戦争論上』

『近世成立期の大規模戦争 戦争論下』

(いずれも、岩田書院、二〇〇六年)

現在、長久手市文化財保護審議会委員、
古戦場公園の整備などに従事。

● 尾張旭市域の歴史

→ 有名な出来事は、小牧・長久手の戦いではないか。

「白山林の戦い」

→ この観点から、ご検討がなされ、お招きをいただきました。

ちなみに名古屋市守山区に住んでおりまして、尾張旭市はなじみが深いです。

尾張旭市域の歴史と文化 魅力の提言

- 条里制の遺構、式内社の存在
印場および稲葉・三郷地域など
- 「聖なる白山」
稲葉の南部丘陵地域、市域の最古の族長の
墳墓の存在、祭祀の場であった可能性
- 水野良春
南北朝期の武将、尾張旭駅前の銅像

尾張旭市域の歴史と文化 魅力の提言

- 小牧・長久手の戦い
「白山林の戦い」、徳川家康方の勝利
- 「名古屋」と「瀬戸」の中間地域
瀬戸街道、交通路の重要性、両地域の影響
→ 今日の名鉄・瀬戸線へ
- 多くの重要な歴史上の特色は指摘されている。
『尾張旭市誌』のご刊行（昭和46年、1971年）、
「ふるさとガイド旭」様の長年のご活動、ご研究

魅力をさらに高めるには・・・

- 調査・研究を活性化し、その成果を多くの方々に知っていただくこと。その成果をまちづくりにも活かすこと。

→ 調査、研究活動とは、地域の歴史・文化の価値を見出すこと、つまり価値を創出すること。
あまり成果が知られていないということならば、
今後は市域の方々の感じる魅力を高める余地が多いということ。

研究を進めるには・・・

- 歴史学、民俗学、地理学等による総合的な研究
古地図・古文書の読解、史料の批判・分析、
荘園や村落の土地利用、城下町・門前町の
構造、河川の流れ、自然堤防の状況・・・
- 若い世代の地域への関心を高める
例えば、「ふるさとガイド旭」様と中部大学の
学生による共同のフィールド調査、年配の
方々への聞き取り調査などの実施